



たいじゅ もり
大樹の森

6月号



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



SNS やオンラインゲームによるトラブルを防ぐために

校長 山下 謙一郎

学校生活も2か月が過ぎ、子どもたちは新しいクラスにずいぶん慣れてきたようです。最初はドキドキしていた子ども、新しい先生や友達と少しずつ信頼関係を育み、新しいクラス文化を楽しんでいるようです。子どもたちの順応性、適応力には感心するばかりです。

さて、今月は小学生でも当たり前のように持つことになったスマホやゲームの主流になりつつあるオンラインゲームによるトラブルについて考えたいと思います。

現在、子どもたちを取り巻く SNS やゲームの環境はとても複雑です。しかし、教師や親以上に子どもたちはこの環境に慣れ、私たちの知らないところであつという間に ICT スキルが磨かれているのも事実です。便利で楽しいツールであることに間違いはないのですが、残念ながら「リビングでのみ使用」「時間を決めて夜は使わせない」「自分用のスマホではなく、家族共用なので親も内容は見えています」と話すご家庭でもトラブルは起きています。実際、学校に相談のある方も、ルールをしっかりと決めて使っているご家庭も多いです。そこで、今回考えていただきたいのは、スマホやオンラインゲームをする以上、加害か被害になる可能性が常にあるということです。

トラブルの原因になってしまう理由の中に、「相手意識の欠如」と「言葉の使い方」があります。「相手のことを考えないまま、自分の言いたいことだけを言う」「思いついたことをすぐに送信してしまう」「話す言葉と、書く言葉は違うことを分かっていない」ことから、そんなつもりはなかったのに…というトラブルに発展します。いったんトラブルになると、相談を受けた学校は休み時間に児童への聞き取りや指導を行ったり、場合によっては授業を自習にして解決にあたったりします。これは、本来大切にしたい教育活動を失うという大変残念なことに他なりません。

学校でも、高学年を中心に携帯・メール教室を開くなど、子どもたちの情報モラルを育ててはいますが限界があります。どうかご家庭でも、お子さんの SNS やオンラインゲームの使い方を定期的に見ていただき、「トラブルに巻き込まれていないか」「よりよい使い方ができているか」お子さんと話し合っただけいただけたらありがたいです。